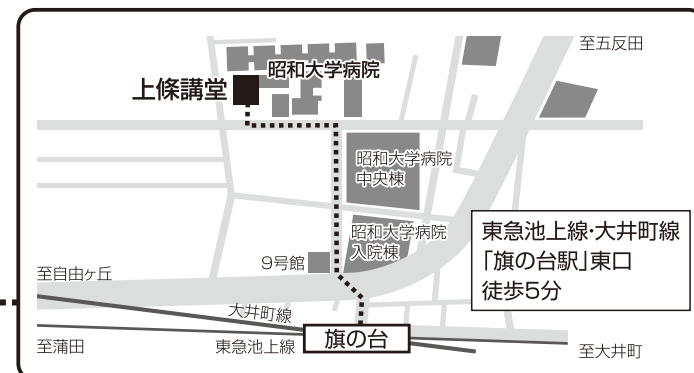


知っておきたい 膵臓がんとその治療法

どなたでも参加できます
無料講演

2017年 6月3日(土) 13:00 ~ 16:30

会場 昭和大学 上條講堂 東京都品川区旗の台1-5-8



膵臓がんの内視鏡診断・治療と 化学療法の現状

膵臓は体の奥にあるため、がんが発生しても見つけるのが非常に難しく、膵臓がんと分かった時には既に進行して予後も不良です。また、膵臓がんの死亡率は近年増加傾向を示し、最近では1950年当時の20倍を超える増加を示し、2014年には全がん死亡数の第4位となっています。そのため、膵臓がんの優れた診断法、治療法の開発が急務となっています。

講演では、昨今内視鏡をつかった膵臓がんの診断・治療法の進歩にはめざましいものがあり、多くの患者さんが恩恵を受けていますので、この内視鏡診断・治療さらに化学療法について解説いたします。

講演 1 川口 義明 先生 東海大学医学部消化器内科准教授

講演 2 中郡 聡夫 先生 東海大学医学部消化器外科教授

膵臓がん外科治療の 最前線

がんを完全に治すための治療は、がんを残すことなく完全に切除する外科治療です。がんの主病巣と周辺のリンパ節を切除しますが、転移が確認されない場合にはもつとも有効な治療法といえます。膵臓がんの場合は、治療前の検査で肝臓等への転移がなく、膵臓のまわりの主要な血管等への浸潤も認めない場合には、外科治療が行われます。

膵臓がんに対する手術の術式は、がんが存在する場所によって異なり、膵頭十二指腸切除術、膵体尾部切除術、膵全摘術ががんの場所によって選択されますので、講演ではこの膵臓がん外科治療についてお話しします。さらに外科治療の術前、そして術後は化学療法を組み合わせることで治療成績もあがっていますので、この最前線の膵臓がん外科治療法について解説します。

講演 3 山田 滋 先生 放射線医学総合研究所病院消化器腫瘍科科長

膵臓がんを 切り取らずに治療する

重粒子線治療とは、炭素イオンやネオンイオンなどの粒子を巨大な加速器を用いて、光の6〜8割以上の速度まで加速してがん部位に照射するという治療法です。がん病巣に線量を集中できるという特徴があり、膵臓がんに対する重粒子線治療は、手術不能な局所進行膵臓がんに対しては2003年4月から臨床第I相／第II相試験が開始され、引き続き2007年からは抗がん剤ゲムシタビン併用臨床第I相／第II相試験が開始されました。その結果、線量増加とともに生存率の向上が得られ、高い線量でも正常組織障害の頻度を増加させることなく、画期的な局所療法として注目されています。

山田 滋先生 プロフィール

1985年 三重大学医学部卒業。
同年千葉大学第2外科(消化器外科)入局。
1992年 千葉県がんセンター消化器外科
医長。1996年 米国NASA Johnson
Space Center留学。放射線医学総合研究所
重粒子医学センター病院医長等を経て、
2010年より現職

中郡 聡夫先生 プロフィール

1983年 千葉大学医学部卒業。
同大学第2外科(消化器外科)入局。
1997年 ハーバード大学留学。
国立がんセンター東病院上腹部外科肝臓科医長等を経て
2010年より現職

川口 義明先生 プロフィール

1993年 札幌医科大学医学部卒業。
同年横浜市立大学医学部附属病院臨床
研修医。横浜南共済病院消化器内科、
京都第二赤十字病院消化器科、横浜市立
大学医学部附属病院第二内科助手等
を経て、2010年より現職

市民公開シンポジウム **無料** 講演会「知っておきたい膵臓がんとその治療法」参加予約のお申し込み

参加予約お申し込み期間 申込み締切：2017年5月22日(月) 郵便の場合消印有効

参加予約のお申し込みは
こちらから
先着350名さま

郵便で 2017年5月22日(月) 消印有効

〒272-8513
千葉県市川市
菅野5-11-13
市川総合病院
角膜センター内
HAB市民シンポ
ジウム事務局

①「第30回市民公開シンポジウム参加希望」
②参加される方のお名前*1
③参加券送付先ご住所*1*2
④同伴者のお名前(1名)

ハガキまたは封書に
①「第30回市民公開シンポジウム参加希望」
②参加される方のお名前*1
③参加券送付先ご住所*1*2
④同伴者がいる場合は、同伴者のお名前(1名)を明記し
投函してください。不明点がある場合は無効となりますので
投函前にご確認ください。
*1 複数名での申込みの場合は、代表者のお名前とご住所のみ記入。
*2 参加券はクロネコDM便での配達になります。転送はされませんので、確実にお手元に届く住所でお申し込みください。(ご案内の目的以外に、これらの個人情報を使用することはありません)

メールで 30-habsympo@hab.or.jp

メールの件名に「第30回市民公開シンポジウム参加希望」、メールの本文に ①参加される方のお名前*1
②参加券送付先ご住所*1*2 ③同伴者がいる場合は、同伴者のお名前(1名)を入力して送信してください。
不明点がある場合は無効となりますので、送信前にご確認ください。

研修認定薬剤師制度について
本シンポジウムは財団法人日本薬剤師研修センター2単位(3時間)の会合です。
認定シールをご希望の方は、参加申し込みの際にその旨をお申し出ください。

